



202404022

—初々しさ満開！ 新社会人！—

今年度、石狩局に配属された新社会人は2名。19日（金）、初の給料日を迎えたので、この3週間を振り返って、話を聞いてみました。

二人とも、慣れない社会人生活、慣れない業務に疲れているのか、と思いきや、しっかりと自分の業務を覚えることに努力するとともに、局内の他の人が、どのような仕事をしているのかについて興味津々です。子どもの未来を保障を目的としている教育局の未来を支える大切な人材に、期待大です。

【新社会人インタビュー】

- 1) 局の雰囲気は？
- 2) 仕事内容と感想
- 3) 仕事でやってみたいこと
- 4) 初月給の使い方
- 5) 今後やってみたいこと
- 6) 抱負



道立学校運営支援室経理支援係 牧野 遥斗 主事

- 1) にぎやか、気軽な雰囲気、相談することが苦ではない。
- 2) 支払業務。簡単なことには慣れてきた。
- 3) 責任ある仕事、やりがいのある仕事をやりたい。
- 4) 貯金、旅行
- 5) 自分以外の係の人のことを知りたい。
- 6) 任された仕事は、自分でしっかりやり遂げたいです。



企画総務課教職員係 初瀬尾 駿輝 主事

- 1) 固いと思ったが、明るく優しい。誰とでも話しやすい。
- 2) 公務災害、免許関係。
- 3) 責任のある仕事をしたい。
- 4) 両親、兄弟へのプレゼント
- 5) 働き方改革に興味がある。自分の仕事をしっかりやり、ほかの係のことも知りたい。
- 6) 子どもたちの未来のために、日々の書類一枚を、気を抜くことなくやります。



令和6年度、道職員としての一步を歩き始めた同期の二人です。これから、少しずつ仕事を覚えて、道教委を背負う人材になることを期待しています。がんばれ！